

和 ~ なごみ ~

当院のロボット手術が アメリカでも脚光を!



人工関節センター長兼
整形外科部長
中村 宣雄

はじめに

それは私がまだ医者にならないうちから、約10年前の頃、当時勤めていた病院長の部長から「アメリカでは骨を削るロボットを使って人工関節を入れる研究をしているらしい」という話を聞きました。当時は遠い異国の夢のような話とは思わず、そのまましばらく忘れていました。しかしそれから約10年近い年月が経ったある日、所属していた大阪大学関節クリニックから突然、今度、協和会病院に手術ロボットが入る。日本に導入するための臨床試験を阪大と共同で行うので、行ってください。という誘いがありました。まさか自分があのロボットを扱うことになると思いつつ、1999年7月より当院に赴任し

人工関節センターを立ち上げ、2000年9月よりロボットを用いた人工関節手術を開始しました。当時はコンピュータ制御で骨を削って人工関節を設置するというこの技術が本当に患者さんの役に立つのか半信半疑でしたが、心配された大きな事故や合併症もなく、また従来の手術法に比べて術中の骨折や肺塞栓などの合併症が少ないこと、術後に人工関節周囲の骨粗しょう症が少ないことなどの利点が術後調査の結果わかってきました。そして、当院の術後患者さんに対して厚生労働省研究班が行っ

たアンケート調査で、「手術を受けて良かった」という意見が大多数を占めていることにも驚かされました。何よりも励まされました。(図1)

当院の人工関節手術は日々進歩しています。当初ロボット手術を受ける前に骨に局所麻酔でピンを植え込む小手術が必要でしたが、2001年以降は大多数の患者さんでこの小手術は不要となり、手術が1回ですむようになりました。また、ロボットではできなかった骨盤側の骨の屈曲も

2004年からナビゲーションという器械を用いることによりロボットと並みに正確な手術ができるようになりました。ロボットによるメリットは足の長さや骨の位置を正確に保つこと、そして手術の質を高いレベルでそろえられることです。術後のリハビリも変わりました。一番最近の進歩は、大阪大学の三木秀宣先生との共同研究で手術後の脱臼危険度を個々の患者さんのさまざまな動作について調べることができるようになりました。(図2) 手間の関係でまだ全員にはできませんが、これによってこれまで画一的に行ってきた術後の生活指導を患者さんひとりひとりの股関節の状態に応じて個別に指導できるようになりました。具体的に言いますと今まではすべての患者さんに「股関節を深く曲げはいけない」と、「脚を組んではいけない」となど指導してきたものを、手術中のデータから「あなたには和式トイレも大丈夫」、「あな

たは脚を組んでも問題ない」という風に指導できるという具合です。実際には現在ほほびやがみこみ、正座、脚組み動作などを許可しています。また、これに伴い、当初は1ヶ月ほどかかっていた術後リハビリも現在では3週間前後、早い人は2週間です。退院できるようになりました。

私たちが手術の目的は、患者さんが手術にロボットやナビゲーションといったハイテク機器を使う理由は、私たちが別に新しい物好きだからではありません。上で述べたように、どう

本年2月に米国・サンディエゴで行われたAAOS(アメリカ整形外科学会)学術集会で、当院整形外科部長、人工関節センター長の中村医師らの発表が学会ユースAAOS Nowのトップ記事として紹介されました。当院で行われたロボットを用いた人工関節手術の良好な成績を報告しています。

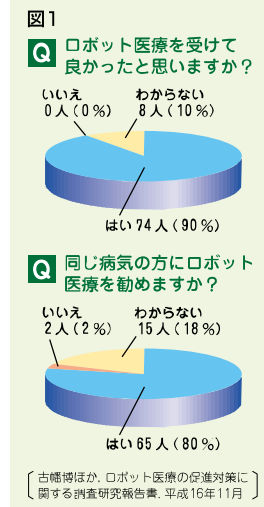
図2 術後の患者さんが行っている人工関節の状態のシミュレーション

図1 ロボット医療を受けて良かったと思えますか?

図2 同じ病気の方にロボット医療を勧めますか?



中村宣雄部長(右)と共同発表者の菅野伸彦大阪大学准教授(左)



新入職医師の紹介



リハビリテーション科
宮島 慶治

平成19年4月より御世話になっております。もともとは内科一般、消化器病、特に肝臓疾患を中心に13年間診療していましたが、平成6年慢性期の病院に転勤したことをきっかけに高齢者の医療、リハビリテーション、認知症にかかわるようになり、協和会病院に来る直前の

6年は介護老人保健施設に勤務していましたが、協和会病院ではリハビリテーション科の医師として活躍を希望しています。私は常々、リハビリテーション科の機能を回復するよりも早くに手術がメタボルを治療できたり、リハビリテーション科でも21世紀の最先端医療だと思っております。微力ですが患者様の社会復帰にご協力できればと考えております。どうかよろしくお願いたします。



内科
中谷 臣吾

皆様、はじめまして。平成19年4月に当院に赴任致しました中谷臣吾(なかつに しんご)と申します。前任地は和歌山県田辺市にある社会保険紀南病院消化器内科で、上下部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ・大腸ファイバー)をはじめとして消化器疾患全般の治療にあたり

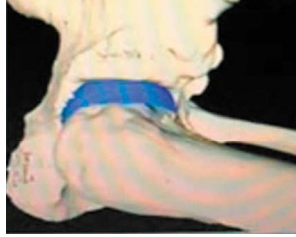
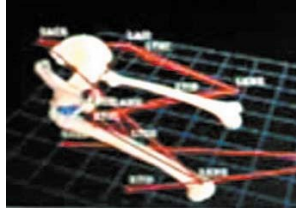
(資格)
日本内科学会内科専門医
日本消化器学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
日本プライマリケア学会指導医・認定医
日本医師会認定産業医

管様、はじめまして。平成19年4月に当院に赴任致しました中谷臣吾(なかつに しんご)と申します。前任地は和歌山県田辺市にある社会保険紀南病院消化器内科で、上下部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ・大腸ファイバー)をはじめとして消化器疾患全般の治療にあたり

せ人工関節手術を受けられるなら、術後の長さもそろい、術後脱臼に対して過度に生活に制限を加えられないこと、健康だった頃と同じような生活を再獲得していただきたいからです。ですから、術後の患者さんを外

アメリカでも注目
ロボット手術を行った最初の患者さんから7年近くが経ち、最初の臨床試験を

行つた約70名の患者さんの大半は手術から5年以上経過しましたが、追跡調査を行ったところ、皆さん成績良好で、再手術に至った方もおられません。このことを2007年2月に行われたAAOS(アメリカ整形外科学会)学術集会で発表したこと、その内容がなんと学会ユースAAOS Nowのトップ記事として紹介されました。これは私たちにとても大変なことに受け止めています。これを励みに、これからもさらに生活の質を高める治療を追求していきたいと思っております。



4階病棟

職場紹介

栄養科

皆さんこんにちは。4階病棟です。

私たちは34名のスタッフで入・退院、手術前後の患者様、内科、リハビリの患者様の退院へ向けのお手伝いをしています。

私たちの良いところを紹介します。スタッフは若く、明るく元氣ヨシ！！です。患者様が元氣に帰られる姿が一番の楽しみに毎日ががんばっています。私たちの元氣な声と明るい笑顔で患者様にも元氣になっていただきたいです。元氣な声と明るい笑顔、もれなく皆様にプレゼント！！します。

(速水めぐみ)



みなさんこんにちは。栄養科は病院1階にありますが、隣接する施設との境にあり、また、入口も別であるためご存じの方も少ないと思います。平成11年に委託の給食会社が入ってから栄養科には管理栄養士、栄養士合わせて5名が勤務しています。主に委託業者への指導、一般食や治療食の献立作成及び発注、選択メニューの実施、経管流動食の準備を始め、入院患者さま、外来患者さまの栄養指導や栄養管理を行っています。近年増え続ける生活習慣病や多くの疾病に対し、栄養指導や栄養相談を通して患者さまや家族さまの抱える不安を少しでも軽減できるよう努力しています。また、より多くの患者さまの声を聞くために、病棟訪問も積極的に行うよう心がけています。どんなことでもかまいませんので、相談等ありましたら気軽に声を掛け下さい。

私たちスタッフ一同は、今後も治療の手助けとなるような、より良い食事を提供できるように精一杯頑張っていきたいと思っています。
(春名由美)



協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代)06-6339-3455

- 理事 長/木曾 賢造
 - 院長/増田 公人
 - 開院年月日/1988年(S63)3月
 - 診療科目/内科、循環器科、消化器科、整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科
 - 専門外来/泌尿器科(月曜日13:00~14:45)
 - 診察時間/午前診 9:00~12:00(月~土曜日)
- ※救急医療については、夜間・休日以外の日勤帯はお受けしております。

健康展 開催のお知らせ



皆様、日頃ご自身の健康管理はどのようになさっていますか？
吹込に開院して20年目を迎えます協和会病院が、地域の皆様の健康管理のお手伝いができればと思い、「病気になる生活習慣」をテーマに健康展を開催いたします。ぜひご来場下さい！！

日時 平成19年5月15日(火) 10:00~15:00
場所 千里老人文化センター 好日荘

入場無料

講演①/10:30~11:30

「脳卒中どこがこわい? ~共存のしかた~」

講師: 協和会病院リハビリテーション科部長
小田 忠文

講演②/13:30~14:30

「元気で長生き・介護予防」

講師: 協和会病院看護部長
田中 恵美子

一知・技・心一

病院理念: 専門的な知識と技術の向上を図り心をこめて安心の医療を提供します

基本方針:

1. 「患者様中心」を常に心がけ満足される医療を提供します
1. 急性期から回復期まで、地域に求められる医療を提供します
1. 医療技術の向上につとめ専門性の高い医療を提供します
1. 人員・設備・環境を整え安心で安全な医療を提供します
1. 患者様・職員共に人権を尊重し公正な医療を提供します

協和会病院 2006.2.1 改訂

相談コーナーⅠ

看護師による健康相談・禁煙相談
血圧測定や体脂肪測定を行います。禁煙相談では、喫煙しない方でもためになる情報をお話いたします。お気軽にお越し下さい。



相談コーナーⅡ

栄養士による栄養相談
病気と食事の関係について知りたいことや、疑問などありましたら、お気軽にご相談下さい。



体力測定

リハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士)による体力測定
握力や身体の柔軟性、バランス能力などを測定いたします。当日、測定を希望される方は動きやすい服装でお越し下さい。



※相談コーナー、体力測定は、お昼休み(12:00~13:00)を除く時間帯で実施いたします。

「意見箱」に寄せられた皆様からのご意見について



当院では、質の向上、より良いサービスの提供を目的に「意見箱」を各フロアに設置し、皆様からのご意見を頂いております。(サービス委員会の意見箱班が定期的に回収)

最近、皆様から頂いたご意見の中で病院側が改善に取り組んだ事項をご紹介します。

ご意見① 「病院玄関の段差(車が止まるところと歩道の段差でつまずいた。)目立つように線でも引いて欲しい。」

改善① 病院玄関前の段差解消の補修工事を4月15日に施行した。

ご意見② 「JR岸辺駅方面の送迎バスは、19時までであるが、桃山台駅方面は、17時20分までしかない。桃山台駅方面は、休日ダイヤもない。」

改善② 桃山台駅方面の送迎バスの休日運行を3月より3便運行するダイヤに変更。平日の17時20分以降の増便については、今後検討して行きます。

以上、紙面の都合上、一部改善事項のみの記載ではありますが、皆様方からのご意見・ご要望などございましたら、お気軽に「意見箱」をご利用下さい。
(サービス委員会)

フレッシュパワーで頑張りま〜す!!

平成19年度、看護部門・パラメディカル部門の新入職者23名です。明るい笑顔と元氣なあいさつ、初心を忘れず頑張りま〜すのでよろしくお祈りします。

